

10月

朽木東小学校 学校だより 第10号

なかよく たっしやで きばる子

令和3年10月18日(月) 文責:校長 地村



2学期が始まってから1カ月半近く経ちました。ここ最近はやさしい気候となってきました。朝夕に感じる涼しい風や夜の虫の音を聞いていますと、本格的な秋の訪れを感じます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、10月に入ってから地域感染レベルが1となりました。校外活動や全校的な学校行事、感染リスクが高い学習活動等は、衛生管理マニュアルやガイドライン等に基づき、対策を講じた上で段階的に再開していきます。引き続き、手洗いや手指消毒、教室の換気、3密の回避などの基本的な感染症対策は、これまで通り徹底してまいります。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

11月の行事予定

※都合により変更することもあります。

- | | |
|--|---------------------|
| 11月4日(木) 読み語り(3年) | 19日(金) 食育の日 クラブ活動 |
| 5日(金) 委員会活動 | 22日(月) 5年生間伐体験 |
| 9日(火) 6年生部活体験 | 24日(水) 交通環境学習(1・2年) |
| 11日(木) 読み語り(4年) | 25日(木) 読み語り(3年) |
| 図書貸出日 | 26日(金) 委員会活動 |
| 12日(金) 5年生フローティングスクール | 30日(火) 命の授業(2・4・6年) |
| 15日(月) No!メディアウィーク | |
| 18日(木) ペースランニング走記録会(学校開放日) ※予備日は19日(金) | |
| 図書貸出日 3・4年生ひびきあい活動 読み語り(2年) | |

3

■6年生の修学旅行について

延期になっていた修学旅行ですが、12月10日(金)と12月17日(金)の2日に分けて県内日帰りを実施します。10日は甲賀・東近江方面、17日は彦根・長浜方面を予定しています。子どもたちにとって思い出に残る旅行にしていきたいと思っています。



2021年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

5月27日に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果を分析、考察しました。この調査は、子どもたちの一人ひとりの学習状況の改善や学校における教育指導の充実、学習状況等の改善に役立てることを目的に、毎年6年生を対象に実施されるものです。調査内容は、国語と算数の2教科、および児童の意識や生活習慣等についての「児童質問紙調査」でした。本校の6年生児童には、以下のような傾向と課題が見られました。

たので、その概要についてお知らせします。

【国語】

「話すこと・聞くこと」の領域はよくできており、目的に応じて話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、文章全体の構成をとらえ、内容の中心となる事柄を把握したりすることの正答率は高かったです。一方で、説明文を読んで中心となる語や文を見つけて要約したり、文章と図表とを関連付け、必要な情報を見つけてまとめたりする「読むこと・書くこと」の領域に課題が見られました。

【算数】

全体としては各領域ともバランスよくできており、特に、数量の変化や測定の領域、図表やグラフの読み取りなどのデータ活用はよくできていました。一方で、複合図形の面積の求め方を説明したり、「30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く」など、基準量を1としたときに比較量が小数に当たる理由を記述したりする問題に課題が見られました。

【質問紙調査】

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問に対して、肯定的な回答割合が特に高かったです。また、「学校で友達と意見交換したり調べ学習をしたりするために、ICT機器をどの程度使っていますか」の質問には、「ほぼ毎日」「週1回以上」の回答が多かったです。
- ・「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」の質問に対しては、消極的な回答割合が高かったです。また「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか」の質問には、「30分より少ない」と回答した割合が高かったです。

<学力向上に関する今後の改善方策>

- すべての教科で、学んだことを子ども自身の言葉で表現するなど、「まとめ」や「振り返り」の充実を図る。視点を明確にして、ワークシートへの記入を積み重ねたり、話し合いを通して自分の知識・考えを再構築したりする時間を大切にする。
- 国語では、説明文の資料（グラフや図表など）で読み取ったことを、文章と関連付けてまとめる活動を増やす。（キーワードの使用・字数制限のもとで）
- 算数では、問題解決に至るまでの筋道や「なぜそう考えたのか」を、文章や式、図表を使って説明する機会を増やす。
- 子どもたちのICT機器の活用への期待は非常に高い。インターネットでの情報収集やドリルソフトを用いた学習などの「個別学習」、端末上に書き込んだ考えを全員で共有し、意見交換したりする「協働学習」など、ICT機器を効果的に使うことで学びを深める。
- 「読書タイム」だけでなく、隙間時間の読書を奨励したり、図書サロンの本の貸し出しを積極的に活用したりする。

※学校では、一人ひとりに応じた指導を心掛けるとともに、今回の調査結果を踏まえて、本校教育の成果と課題を分析・把握し、学力向上に向けて取組を進めていきます。

